

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 1年

メイクアップアーティスト専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ホスピタリティ			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1単位	後期	1単位	1年合計単位	2単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	黒坂 朋子					
	実務経験	有	客室乗務員として通算8年おもてなしの仕事に従事してきた経験をもとに、ホスピタリティあふれる接遇を指導する。			
目的及び概要	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。前期では、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また人と人との関わりの中で他者を理解・受容し上手な交流のあり方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。					
到達目標	自己肯定感を高め、自信を持って交流できるようになる。他者への配慮や共感できる感情能力を知り、上手に対応できるようになる。おもてなしの心を形にできるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ホスピタリティマインド養成ワークブック					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	オリエンテーション	ホスピタリティとは・・・定義とゴール(目的)の確認			
第2回	2	自分自身のフィードバック	他己紹介と絵による自分表現			
第3回	3	自分自身のフィードバック	他己紹介と絵による自分表現			
第4回	4	ホスピタリティの精神を理解	ホスピタリティマインドとは・・・人間力を高めるには・・・			
第5回	5	自己理解・自己受容	まずは自分を知ろう 心理学による自己分析			
第6回	6	自己理解・自己受容	人との関わり方において強み弱みに気づき、自己改善に繋げる			
第7回	7	ホスピタリティマインドの確立	「～のせい」から「～のお陰で」に切り替え、自己肯定感を高める			
第8回	8	ホスピタリティマインドの確立	NOTOK感情をため込まないために・・・			
第9回	9	ホスピタリティマインドの確立	プラス思考とマイナス思考の違い			
第10回	10	振り返り	DVD鑑賞			
第11回	11	他者理解・他者受容	価値観とは グループ討議			
第12回	12	他者理解・他者受容	自分や他者のものの見方や考え方の違いを知る			
第13回	13	他者理解・他者受容	柔軟性を持ち、他者受容力を高める			
第14回	14	前期のまとめ	前期のまとめと試験の説明			
第15回	15	期末試験	試験			
初回持ち物	テキスト、筆記用具、ipad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ホスピタリティ			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1単位	後期	1単位	1年合計単位	2単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	黒坂 朋子					
	実務経験	有	客室乗務員として通算8年おもてなしの仕事に従事してきた経験をもとに、ホスピタリティあふれる接遇を指導する。			
目的及び概要	後期学生を待ち受けているのは、目前に迫った就職活動です。前期で習得したホスピタリティ力を発揮しながら自信を持って臨めるようサポートします。まずは他者目線からの自分のイメージを知り、自己改善を促します。後半は、ストローク(触れ合い)演習やおもてなしの実例に触れ、ホスピタリティマインドを持って仕事することの素晴らしさを学生同士お互いに共有し、「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。					
到達目標	自己肯定感を高め、自信を持って交流できるようになる。他者への配慮や共感できる感情能力を知り、上手に対応できるようになる。おもてなしの心を形にできるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ホスピタリティマインド養成ワークブック					
<授業計画>	後期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	ホスピタリティの振り返り	前期の振り返り			
第2回	2	豊かな触れ合い	ストローク(触れ合い)の理解			
第3回	3	豊かな触れ合い	DVD鑑賞			
第4回	4	豊かな触れ合い	ストロークの演習			
第5回	5	豊かな触れ合い	DVD鑑賞			
第6回	6	ホスピタリティマインドの発揮	印象ゲーム			
第7回	7	ホスピタリティマインドの発揮	印象ゲーム			
第8回	8	ホスピタリティマインドの発揮	印象ゲーム			
第9回	9	ホスピタリティマインドの発揮	心の4つの窓 第一印象の重要性			
第10回	10	サービスの本質	モノ的なサービスとヒト的なサービス			
第11回	11	サービスの本質	CSとお客様の心理			
第12回	12	ホスピタリティ企業のおもてなし	DVD鑑賞(オリエンタルランド社の講演)			
第13回	13	ホスピタリティ企業のおもてなし	ディズニーのおもてなしとは・・・			
第14回	14	期末試験	期末試験			
第15回	15	期末試験の確認と振り返り	期末試験の解説と前期のまとめ			
初回持ち物	テキスト、筆記用具、iPad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ITコミュニケーション			クラス名	S1D	
1年単位		前期	-	後期	1単位	1年合計単位	1単位
2年単位		前期	1単位	後期	1単位	2年合計単位	2単位
担当講師		田中 みゆき					
		実務経験	有	企業研修や大学での授業経験を活かし、実務に活用できるパソコンスキルを習得できるよう指導する。			
目的及び概要		日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、電子メールなどインターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、アプリケーションソフトの基本操作を学習します。					
到達目標		アプリケーションソフトの基本操作を理解する ビジネス文書の形式を理解する					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	Windows10 基本操作	Windows基本操作				
第2回	2	Windows10 基本操作	データのコピー、USBの取り扱い、タイピング				
第3回	3	文字の入力	Word 基本操作・文字の入力・保存				
第4回	4	文字の入力	Word 記号の入力、IMEパッド、文章の入力				
第5回	5	文章の編集	Word 文章の編集・ページ設定・印刷				
第6回	6	Google Chrome	Google Chrome 基本操作				
第7回	7	ビジネス文書の形式を覚えよう	Word ビジネス文書の作成				
第8回	8	ビジネス文書の形式を覚えよう	Word ビジネス文書の編集				
第9回	9	オブジェクトの挿入	Word オブジェクトを活用した文書の作成				
第10回	10	表の挿入と編集	Word 表の挿入と編集				
第11回	11	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作				
第12回	12	Excel基本操作	Excel 基本操作・式と書式設定				
第13回	13	試験対策	Word 試験対策				
第14回	14	期末試験	Word 期末試験				
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説、カバーレター作成				
初回持ち物		教科書、クリアファイル、筆記用具					
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		業界・就職ガイド			クラス名	S1D	
1年単位		前期	3 単位	後期	1 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師		大内 博子 ・ 新山 和子					
実務経験		-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。				
目的及び概要		エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話しを聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。					
到達目標		各業界・専攻の理解を深め後期に向けて専攻決定をする					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1-3	美容業界について	美容業界とはどんなものか/身嗜みについて				
第2回	4-6	職種・資格	それぞれの専攻 職種について・コース別資格取得説明				
第3回	7-9	キャリアデザイン	自分を理解し、なりたい自分を考える。 外部講師 セミナー(SMB)				
第4回	10-12	働く事について	外部講師 セミナー				
第5回	13-15	業界について	業界の方を招いてどんな仕事を聞く①【エステ】				
第6回	16-18		業界の方を招いてどんな仕事を聞く②【アロマ】				
第7回	19-21		業界の方を招いてどんな仕事を聞く③【メイク】				
第8回	22-24		業界の方を招いてどんな仕事を聞く④【ブライダル】				
第9回	25-27		業界の方を招いてどんな仕事を聞く⑤【ネイル】				
第10回	28-30	先輩からの話	各業界卒業生からの話 【からきめ1回目】				
第11回	31-33	先輩からの話	在校生からのお話 専攻・就職活動				
第12回	34-36	身だしなみについて	就職活動の身だしなみについて(株式会社コナカ)				
第13回	37-39	夏季休暇の就活	夏季休暇中の就職活動・夏季休暇課題について				
第14回	40-42	定期試験	課題 レポート				
第15回	43-45	キャリアビジョン	人生・仕事において自分自身のなりたい姿を考える				
初回持ち物		筆記用具、iPad					
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		業界・就職ガイド			クラス名	S1D	
1年単位		前期	3 単位	後期	1 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師		大内 博子・新山 和子					
実務経験		-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。				
目的及び概要		就職活動の早期化に伴い、1年前期より就職活動や試験内容に触れ意識の向上を図る。授業を通じて、自己分析をし向き合う。					
到達目標		就職活動に向けて準備をする					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	専攻別の業種	専攻別の業種・就職先について				
第2回	2	企業研究	業種ごとの選択肢を知る				
第3回	3		企業研究の仕方・応用と実践				
第4回	4	インターンシップ	インターンシップ・エントリーについて・各種書類について				
第5回	5	自己PR	自己分析				
第6回	6		自己PRの作成①				
第7回	7		自己PRの作成②				
第8回	8	志望動機	志望動機の考え方①				
第9回	9		志望動機の考え方②				
第10回	10	計画を立てる	就職活動の本格化・計画を立てる				
第11回	11	表現力	表現力の大切さ				
第12回	12		表現力を身につける～実践～				
第13回	13	面接の基礎	面接の基礎・模擬面接の仕方				
第14回	14	期末テスト	期末テスト				
第15回	15	設問対策	設問対策・春休みの就職活動について				
初回持ち物		筆記用具・就活ファイル(A42穴タイプ)					
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任・副担任					
	実務経験	-				-
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。 1年前期の目標:『言われたことができる人になる』					
到達目標	集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	スクールライフマニュアル ビューティマナー研修	個人目標設定4月/SAMIについて・委員決め			
第2回	2		個人目標設定5月、振り返り/ビューティマナー研修(サロン体験)概要について/			
第3回	3		ビューティマナー研修について(サロン決め)/カウンセリングシート記入			
第4回	4		スクールライフマニュアル【出欠・再認定補講】			
第5回	5	目標	個人目標設定6月、振り返り/避難訓練について			
第6回	6	オープンキャンパス	オープンキャンパスの体験内容について			
第7回	7	ビューティマナー研修	ビューティマナー研修振り返り(レポート)			
第8回	8	コミュニケーションスキル	動画から学ぶコミュニケーションスキル			
第9回	9	スポーツ大会	スポーツ大会概要/実行委員決め			
第10回	10	目標/専攻別資格	個人目標設定7月、振り返り//からきめ(各専攻の資格について)			
第11回	11	スポーツ大会	スポーツ大会競技案			
第12回	12		スポーツ大会出場競技決め			
第13回	13	ビューティマナー研修	ビューティマナー研修(観劇)概要について			
第14回	14	オープンキャンパス	からきめ後のオープンキャンパスについて			
第15回	15	アンケート	授業改善アンケート・学校改善アンケート・夏季休暇の過ごし方			
初回持ち物	筆記用具、ipad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○ 課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	S1D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師		担任・副担任					
		実務経験	-			-	
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	自己紹介	自己紹介/リーダー・サブ/SAM担当/ビューティマナー課題配布(宿題)				
第2回	2	目標設定/スクールライフマニュアル	個人目標/クラス目標/出席・補講について/★ビューティマナー課題提出日				
第3回	3	学園祭について	シフト決め/役割分担/制作物				
第4回	4	学園祭について	制作物/マニュアル確認				
第5回	5	コミュニケーションスキル	より良い学校生活を送るには/クラスコミュニケーション				
第6回	6	コミュニケーションスキル	SNS発信について/ディスカッション				
第7回	7	学校紹介動画作成	学校紹介動画作成(TikTok)				
第8回	8	FUSIについて①	日程概要説明/FUSIとは動画視聴				
第9回	9	FUSIについて②	FUSI実行委員選出/サプライズについて				
第10回	10	FUSIについて③	サプライズの作成				
第11回	11	FUSIについて④	サプライズの作成				
第12回	12	FUSIについて⑤	サプライズの作成				
第13回	13	FUSIについて⑥	2年生へ向けて/サプライズについて				
第14回	14	FUSIについて⑦	来年度FUSIへ向けて なりたい自分イメージ				
第15回	15	振り返り	振り返り/2年生進級に向けて				
初回持ち物		ライフマニュアル、筆記用具、ipad					
成績評価方法		・出席率		定期試験	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		皮膚科学			クラス名	S1D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ					
到達目標		自分の肌ことだけではなく、お客様へ肌のアドバイスができるようになる					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		②皮膚科学					
<授業計画>		前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	皮膚の構造	皮膚科学の意味				
第2回	2	皮膚の全体像	皮膚として何をしているか				
第3回	3	皮膚の表面と表皮	表皮と構成				
第4回	4	真皮と皮下組織	真皮の構成成分				
第5回	5	付属器	汗腺・皮脂腺				
第6回	6	小問題	Chapter1のまとめ				
第7回	7	Chapter2 生理機能	皮膚全体としての機能				
第8回	8	保護作用	守るようになっている仕組み				
第9回	9	保湿作用	乾燥しないようになっている仕組み				
第10回	10	感覚・体温調節	自律神経で勝手にしてくれていること				
第11回	11	貯蔵作用・吸収作用	皮膚の優秀さについて				
第12回	12	小問題・センター問題	まとめとテスト対策				
第13回	13	センター問題集	テスト対策				
第14回	14	テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	解説				
初回持ち物		皮膚科学のテキスト(2番)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		皮膚科学			クラス名	S1D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ					
到達目標		自分のことだけでなく、お客様へ肌のアドバイスができるようになる					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		②皮膚科学					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	前期復習	復習①				
第2回	2		復習②				
第3回	3		復習③				
第4回	4	スキンホメオスタシスと肌	自律神経の状態が肌に出ること				
第5回	5	内臓と血液循環と肌	内臓の状態が肌に出ること/マッサージの必要性				
第6回	6	栄養と肌の健康	栄養素と肌				
第7回	7	季節別スキンケア	季節別お手入れ方法				
第8回	8	老化肌とは	肌が老化するとは				
第9回	9	自然老化と光老化	光老化が80%を占めることについて				
第10回	10	日焼けと老化	日焼けで老化する現象				
第11回	11	しわ・しみ	しわ・しみの悩み				
第12回	12	テスト対策	テスト対策: 例題集を解く				
第13回	13		答え合わせ、解説				
第14回	14	テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	返却・答え合わせ、解説				
初回持ち物		②皮膚科学のテキスト・線を引く為のカラーペンや蛍光ペン(何色でも可)					
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		生理学			クラス名	S1D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師		佐々木 圭					
		実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元にカラダの仕組み(解剖・運動生理学)を伝えていく。			
目的及び概要		人を美しく、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。					
到達目標		生理学についての基礎知識を習得していく。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		③解剖生理学					
<授業計画>		前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	人体のあらし	ヒトとは、人体の成り立ち、主な器官				
第2回	2	人体の成り立ち	細胞・組織・器官				
第3回	3	骨格系	骨とは口				
第4回	4	骨格系	全身の骨格口				
第5回	5	筋系	筋とは				
第6回	6	筋系	全身の筋肉				
第7回	7	筋系	全身の筋肉				
第8回	8	神経系	神経系のあらし				
第9回	9	神経系	中枢神経				
第10回	10	神経系	末梢神経				
第11回	11	感覚器系	感覚器のあらし				
第12回	12	感覚器系	皮膚・眼・耳・鼻・舌				
第13回	13	期末テスト対策	セエステティシャンセンター試験筆記例題集				
第14回	14	期末テスト	授業内範囲				
第15回	15	期末テスト返却	フィードバック				
初回持ち物		③解剖生理学テキスト・筆記用具・ipad					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		生理学			クラス名	S1D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師		佐々木 圭					
		実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元にカラダの仕組み(解剖・運動生理学)を伝えていく。			
目的及び概要		各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること					
到達目標		お客様に体の構造の説明をできるようになること、自分の体のことも知ること					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		③解剖生理学					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	Chapter4	消化器系				
第2回	2	Chapter5	呼吸器系				
第3回	3	Chapter5	泌尿器系				
第4回	4	Chapter7	内分泌系				
第5回	5	Chapter9	循環器系				
第6回	6	検定対策	センター試験の問題集				
第7回	7	運動生理学 Chapter5&6	運動の必要性と筋肉・循環器				
第8回	8	Chapter7 & 8	代謝と運動とプログラムについて				
第9回	9	検定対策	センター試験の問題集				
第10回	10	心身生理学 Chapter13 & 14	脳とホメオスタシス				
第11回	11	Chapter15 & 16	免疫とストレス				
第12回	12	Chapter17 & 18	心と肥満とスキンタッチ				
第13回	13	検定対策	センター試験の問題集				
第14回	14	テスト	期末テスト				
第15回	15	テスト返却	まとめ・復習				
初回持ち物		③解剖生理学テキスト・筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		栄養学			クラス名	S1D	
1年単位		前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		栄養素とは何か、食べ物で体はできていることを理解し、食べたいものを選ぶのではなく、必要なものは何か、不要なもの(病気の原因となるもの)は何かを理解する					
到達目標		お客様へ説明できるような食べ物への知識を深め、検定の問題も合格点を目指す					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		⑥栄養学					
<授業計画>		前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	栄養学とは	栄養学の考え方				
第2回	2	体と栄養	体の構成要素				
第3回	3	摂取エネルギー量	食べていい量・貯蔵カロリー				
第4回	4	栄養素のはたらき	栄養素の種類				
第5回	5	たんぱく質・脂質	3大栄養素の考え方(前半)				
第6回	6	糖質	3大栄養素の考え方(後半)				
第7回	7	ビタミン・ミネラル	ビタミン・ミネラルの構成				
第8回	8	食品の分類と組み立て	バランスのとれた食事とは				
第9回	9	食生活と健康	さまざまな病気になる原因				
第10回	10	食生活と美容	美容に良い成分と摂取法				
第11回	11	センター試験問題集	センター試験問題				
第12回	12	センター試験問題集	センター試験問題				
第13回	13	テスト対策	センター試験問題				
第14回	14	テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	解説				
初回持ち物		⑥栄養学の教科書					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名	東洋西洋セラピー			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	田村 舞					
	実務経験	有	エステティックサロン経験を元に、お客様のニーズに合わせた様々な接客、カウンセリング力を習得できるよう幅広く指導をする			
目的及び概要	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。					
到達目標	固定概念に囚われず、癒しについて学ぶ					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	①エステティック概論・東洋西洋セラピー					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	エステとセラピーの違い	エステティックの歴史・東洋医学と西洋医学の違い			
第2回	2	東洋セラピー	アーユルヴェーダ			
第3回	3	東洋セラピー				
第4回	4	東洋セラピー	中医学			
第5回	5	東洋セラピー	陰陽説・五行説			
第6回	6	東洋セラピー				
第7回	7	東洋セラピー	気・血・水/医食同源/気功			
第8回	8	東洋セラピー	耳つぼ/カップリング療法			
第9回	9	西洋セラピー	アロマセラピー/リフレクソロジー/ポトロジー			
第10回	10	西洋セラピー	リンパドレナージュ/タラソセラピー			
第11回	11	西洋セラピー	ストーンセラピー/オーラソーマ			
第12回	12	西洋セラピー	アートセラピー			
第13回	13	期末試験	期末試験			
第14回	14	お楽しみ授業	ストーンセラピー			
第15回	15	お楽しみ授業	カラーセラピー			
初回持ち物	テキスト/ipad/筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		化粧品学			クラス名	S1D	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系4大卒業後、化粧品会社を経て美容学校の教員20年目の経歴とサロン経営、化粧品会社経営の経験を活かして皮膚の知識とカウンセリングに関して伝えていく。			
目的及び概要		化粧品はすべてルールに基づき作られていることを知り、流行に関わらず正しい知識を得ることを目的とする					
到達目標		どの商品を見ても成分が読めて、検定取得に対する知識を深める					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		化粧品学					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	化粧品学とは		化粧品の成分について			
第2回	2	法律とルール		化粧品の法律(薬機法について)			
第3回	3	基礎化粧品の品質		品質と特性			
第4回	4	基礎化粧品の分類		基礎化粧品の役割			
第5回	5	洗浄化粧品		クレンジング・洗顔の商品			
第6回	6	整肌化粧品		化粧水・乳液・クリームの商品			
第7回	7	活性化化粧品		美容液などの賦活化粧品			
第8回	8	メイクアップ料		役割と分類			
第9回	9	ベースメイク		ファンデーションなどの商品			
第10回	10	ポイントメイク料		アイメイク用品			
第11回	11	問題集		センター問題集			
第12回	12	問題集		センター問題集			
第13回	13	テスト対策		テスト対策			
第14回	14	テスト		期末テスト			
第15回	15	返却		解説			
初回持ち物		⑤化粧品学のテキスト・iPad					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300~250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以上	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以上 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		衛生消毒救急法		クラス名	S1D	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位 1 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位 -
エステ講師						
担当講師		実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに衛生・消毒、救急の大切さ・必要性の指導を行う		
目的及び概要		美容業は、衛生・消毒に関するルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起こっても迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。				
到達目標		衛生・消毒の基礎知識の理解をし、センター試験合格と美容業界に出てからの一般常識を習得すること。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		サロンでの救急法/衛生・消毒(日本エステティック業協会)				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	シラバス・授業説明	シラバス確認・授業説明・キレイの基準・美容業の守るべきルール			
第2回	2	救急法	常識と救急			
第3回	3	基礎知識と応急処置	心肺蘇生法と止血			
第4回	4	簡単な手当と病気	症状別対応法①			
第5回	5	主な事故・けが	症状別対応法②			
第6回	6	まとめ	センター試験問題対策			
第7回	7	公衆衛生	公衆衛生とは/歴史			
第8回	8		公衆衛生の歴史/日本の衛生法規/小問題			
第9回	9	病原微生物	病原微生物の歴史			
第10回	10		病原微生物の種類/小問題			
第11回	11	感染症	感染と発症/3つの要因			
第12回	12		感染症法の対象疾患/予防対策/小問題			
第13回	13	センター筆記勉強	センター試験問題対策 模試実施			
第14回	14	期末試験	授業内範囲から出題			
第15回	15	期末試験返却	期末試験返却・解説			
初回持ち物		筆記用具・教科書(上記記載のテキスト)・iPad				
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以上	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以上 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステティック実技理論			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	田村 舞					
	実務経験	有	エステティックサロンでの経験から必要な知識やマナー、技術について伝えていきます。			
目的及び概要	エステティックの歴史や各国のエステにはどのようなものがあるのかを知り、いろいろなエステの施術・マッサージの効果や化粧品の成分、効果についてを学ぶ。また、ボディのお悩みの原因についても知識をつけていく。実技の授業で実践をしていく。					
到達目標	エステティックの知識を深め、ボディやフェイシャルの施術の効果や禁忌・注意についてを知る。実際に実技の授業で使用する使用化粧品の成分や効果を覚える。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	①エステティック概論・⑤フェイシャル実技理論、④ボディ実技理論教科書・その他					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	エステについて	エステティックとは。どんな仕事か。授業ルールについて。			
第2回	2		各国のエステティックとは。ボディ・フェイシャル			
第3回	3	マッサージについて	エستمッサージの効果、禁忌、注意について			
第4回	4	手技について	エステの6手技とは。効果について。			
第5回	5	使用化粧品について	ボディオイルの成分&効果について。			
第6回	6	コンサルシート	カウンセリングとは。シート記入の仕方。			
第7回	7	エステの施術について	かっさ、バンテージ、などいろいろなオプションについて。			
第8回	8	ボディ機器	ボディ機器とはどんなものがあるか			
第9回	9	ボディのお悩みについて	冷えについて			
第10回	10		浮腫みについて			
第11回	11		過脂肪、セルライトについて			
第12回	12					
第13回	13	フェイシャル	フェイシャル化粧品について			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	期末テスト返却			
初回持ち物	筆記用具、エステ実技ファイル、④ボディ実技理論テキスト					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステティック実技理論			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	田村 舞					
	実務経験	有	実技で行うための基礎知識を習得させ、エステサロンでの経験を もとにボディのカウンセリング力を高めるよう指導する			
目的及び概要	技術を学ぶために必要な知識、禁忌事項、マナーを学んだ後、機器や使用化粧品の知識を深めます。お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホームケアアドバイスなど、実際のサロンでお客様に接した時に、対応できるスキルを学びます。					
到達目標	センター技術力確認試験フェイシャル合格に向けて、ボディ実技の授業と連動し、肌に触れることへの基礎を学んでいきます。 【ボディ実技理論】ボディ実技を行う上での基礎知識の習得 【カウンセリング】お客様とのコミュニケーションをはかり接客することができるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	①エステティック概論・⑤フェイシャル実技理論、④ボディ実技理論教科書・その他					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	後期授業流れ	後期の流れ・検定試験・コンサルシートについて			
第2回	2	ボディトラブル コンサルシートの書き方	むくみについて・コンサル左側について			
第3回	3		冷えについて・BMI			
第4回	4		過脂肪について・オイル選択			
第5回	5		セルライトについて・イラスト記入			
第6回	6		総合所見・目的 本番ペアでのカウンセリング			
第7回	7		ホームケアアドバイス			
第8回	8		検定対策	赤入れ・口頭試問		
第9回	9	口頭試問シート・コンサルシート記入				
第10回	10	検定対策	センター筆記対策 期末試験出題範囲(ボディ実技理論)			
第11回	11		センター筆記対策 期末試験出題範囲(ボディ実技理論)			
第12回	12		センター筆記対策 期末試験出題範囲(ボディ実技理論)			
第13回	13		センター筆記対策 期末試験出題範囲(ボディ実技理論)			
第14回	14	期末試験	期末試験			
第15回	15	答案返却	答案返却 フィードバック			
初回持ち物	筆記用具、実技ファイル、ボディ実技理論の教科書					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	薬膳入門			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	小林 優子					
	実務経験	有	セルフケア上手になるための日常に密着した薬膳を得意とし、薬膳料理教室での経験をもとに、日々の食事と生活で体調を整える薬膳をお伝えします。			
目的及び概要	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。そのための薬膳です。					
到達目標	自分の体調や体質を知る事、そしてそれに合わせた食事や生活の工夫ができる力を身につけ、自分の体調を整えることを目標とします。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	オリエンテーション・薬膳概論①	オリエンテーション・薬膳を学ぶ意味、薬膳とは何かを学びます。			
第2回	2	薬膳概論②	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法①気血水			
第3回	3	薬膳概論③	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法①気血水			
第4回	4	薬膳概論④	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法③五臓			
第5回	5	薬膳概論⑤	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法③五臓			
第6回	6	薬膳概論⑥	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法④舌で体質をみる方法 舌の状態、気血水、陰陽、五臓から自分の体質を見て、食事と生			
第7回	7	体質別薬膳①	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(頭痛について)			
第8回	8	体質別薬膳②	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(むくみについて)			
第9回	9	体質別薬膳③	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(便秘について)			
第10回	10	体質別薬膳④	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(目の疲れについて)			
第11回	11	体質別薬膳⑤	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(やる気アップについて)			
第12回	12	試験対策	期末試験対策を行います			
第13回	13	期末試験	まとめの試験を行います			
第14回	14	振り返り・まとめ・プレゼンテーション	今までの食事や生活の振り返りを行い、自分の体調や体質に合わせた食事や生活を考え、それに対して取り組んだ事、改善したことをプレゼンします。			
第15回	15					
初回持ち物	筆記用具/ipad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ビューティビジネス実務検定			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	細谷 知永					
	実務経験	有	エステセラピスト・カウンセラー経験からスタッフの技術指導や育成を行い、店舗運営・売上管理・顧客対応、施術提案やカウンセリング業務、顧客フォローなどにも携わる。これらの経験を元にお客様視点でのサービス提供とその重要性を理解してもらえるよう、指導を行う。			
目的及び概要	美容サロンへ就職するために必要なビジネススキルと、ビューティコーディネーターの基礎知識、美容サロンで働くうえでの美容基礎知識を網羅する。高い知識とカウンセリングスキルで、お客様に適した美容施術や商品をコーディネートし提案する力を身につける。 全授業にて小テストを実施。授業欠席時には次週の授業日までに小テストの解答を提出。					
到達目標	ビューティビジネス実務検定合格 模擬試験日:6月9日(月) 検定試験日:6月10日(火)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ビューティビジネス実務検定公式テキスト					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	ビューティコーディネーターの仕事	ビューティコーディネーターの仕事とは			
第2回	2	ビューティコーディネーターの仕事	美容業界におけるビジネスキャリア①			
第3回	3	ビューティコーディネーターの仕事	美容業界におけるビジネスキャリア②			
第4回	4	サロンコミュニケーション	サロンにおけるビジネスキャリア/ホスピタリティを発揮する			
第5回	5	サロンコミュニケーション	サロンでの社内コミュニケーション			
第6回	6	接客の基本と言葉遣い	接客の基本と言葉遣い			
第7回	7	接客の基本と言葉遣い	サロンにおける電話対応・メールの基本			
第8回	8	美容業界とビジネススキル	サロンのメディア活用			
第9回	9	サロンにおける仕事内容	サロンオペレーション①			
第10回	10	サロンにおける仕事内容	サロンオペレーション②			
第11回	11	美容基礎知識	ファッションの理解と美容意識のコーディネート			
第12回	12	美容基礎知識	美容基礎知識			
第13回	13	美容基礎知識	トータルビューティメニュー			
第14回	14	総まとめ	総まとめ			
第15回	15	期末テスト	期末テスト			
初回持ち物	テキスト/筆記用具/タブレット/タブレットペンシル (初回授業までに、該当のGoogleクラスルームへ参加しておくこと)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以上	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以上 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		化粧品検定			クラス名	S1D	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		本多 誓子					
		実務経験	有	日本化粧品検定協会コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。 美容師としての実務経験を活かし美容の知識を幅広く指導し、化粧品検定合格へと導く。			
目的及び概要		化粧品検定の資格取得を通じて、美容の奥深さと楽しさを知り、より美容に詳しいカウンセリングができる美容クリエイターの育成サポート					
到達目標		日本化粧品検定2級 取得					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書							
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67				
第2回	2	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67				
第3回	3	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～				
第4回	4	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～				
第5回	5	肌の手入れと 正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93				
第6回	6	肌の手入れと 正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93				
第7回	7	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137				
第8回	8	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137				
第9回	9	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント				
第10回	10	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント				
第11回	11	期末テスト	模擬試験				
第12回	12	期末テスト	模擬試験				
第13回	13	テスト返却・答え合わせ	解説と検定対策(おさらい)				
第14回	14	テスト返却・答え合わせ 検定対策	解説と検定対策(おさらい)				
第15回	15	検定本番	日本化粧品検定2級 受検				
初回持ち物		2級・3級対策テキスト 問題集 手鏡(毎回持参) メイクアップ講座の際には手持ちのメイク道具					
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		メイク&ヘアアレンジ実習		クラス名	S1D	
1年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	1年合計単位	6 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	浅岡 久美・大内 博子					
	実務経験	有 ヘアメイクアップアーティストの立場から、撮影やメイクアドバイスなどの経験をふまえ、ヘアアレンジとメイクアップの基本を伝えていく。				
目的及び概要	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法などを学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。					
到達目標	相モデルで実践し人に施術ができるようになることが目標					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	日本メイクアップ技術検定公式テキスト2, 3級					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	メイクの基礎知識、ベースメイク1	道具の種類や使い方(メイクブラシの種類や使い方、お手入れ方法)、セッティング、コントロールカラー、色合わせ			
第2回	4-6	ベースメイク2	下地、コントロールカラー、ファンデーションの塗り方、フェイスパウダーのつけ方			
第3回	7-9	ベースメイク3	復習、コンシーラーでのカバーの仕方			
第4回	10-12	アイメイク1	眉の描き方、アイシャドーのつけ方			
第5回	13-15	アイメイク2	復習、アイラインの引き方、ビューラーのかけ方、マスカラのつけ方			
第6回	16-18	ベースメイク4、立体感、リップ	ベースメイク(ブラシ)、チーク、ハイライト、ローライトの入れ方、リップのつけ方			
第7回	19-21	ヘア1	編み込み、ピン打ち、編み込みアレンジ			
第8回	22-24	ヘア2	コテの使い方			
第9回	25-27	顔型修整	顔型によるチーク、ハイライト、ローライトの入れ方の違い、ポイントメイク復習			
第10回	28-30	フルメイク	メイク復習			
第11回	31-33	就活ヘアメイク	就活に向けての好感度UPヘアメイク			
第12回	34-36	ヘア3	相モデルでヘアアレンジ			
第13回	37-39	イメージヘアメイク	相モデルのイメージに合わせたヘアメイク			
第14回	40-42	期末テスト、メイク画作成	期末テスト(筆記)、メイク画作成(最終日に使用)			
第15回	43-45	テーマ別メイク	前回考えたプランをもとに実際にメイクを仕上げる			
初回持ち物	ブラシセット、スポンジ、パフ(←授業前に配布された場合)、白タオル(フェイスタオルサイズ34cm×84cm位)3枚、ティッシュ(箱又はポケットティッシュ)、名前シール(←授業前に配布された場合。名前を書いた状態で持参)、サインペン(タオル、パフ、スポンジに名前をかきます)、ipad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以上	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以上 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		メイク&ヘアアレンジメント実習		クラス名	S1D	
1年単位		前期	3 単位	後期	3 単位	1年合計単位 6 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位 -
担当講師						
浅岡 久美						
実務経験		有		ヘアメイクアップアーティストの立場から、撮影やメイクアドバイスなどの経験をふまえ、ヘアアレンジとメイクアップの基本を伝えていく。		
目的及び概要		メイクの基礎をベースに、より実践的な悩み対策やアドバイス方法、トレンドの応用テクニックを学びます。				
到達目標		実践的な応用テクニックを学び、提案力のある人材になることを目標としています。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		日本メイクアップ技術検定公式テキスト2, 3級				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	化粧品ブランド広告メイク	国内、海外の化粧品広告を基にメイク画作成、アイモデルで実習			
第2回	4-6	化粧品ブランド広告メイク	国内、海外の化粧品広告を基にメイク画作成、アイモデルで実習			
第3回	7-9	ヘアメイク練習	学園祭サロン運営に向けたヘアメイク練習			
第4回	10-12	ヘアメイク練習	学園祭サロン運営に向けたヘアメイク練習			
第5回	13-15	アジアのメイク	国境を越えた美とその国の文化を学ぶ(キュート・フレッシュ)			
第6回	16-18	アジアのメイク	国境を越えた美とその国の文化を学ぶ(クール・モード)			
第7回	19-21	骨格別メイク	顔型の修正テクニックとパーツの修正テクニックを学ぶ			
第8回	22-24	骨格別メイク	顔型の修正テクニックとパーツの修正テクニックを学ぶ			
第9回	25-27	スタジオメイク	スタジオメイクリハーサル			
第10回	28-30	スタジオメイク	スタジオメイクリハーサル			
第11回	31-33	欧米メイク	ハリウッドやヨーロッパのメイク研究			
第12回	34-36	ヘアアレンジ復習	基本のヘアアレンジ復習			
第13回	37-39	ファッション×メイク×ヘア	ファッションやヘアスタイルとメイクのトータルバランスを学ぶ			
第14回	40-42	ファッション×メイク×ヘア	ファッションやヘアスタイルとメイクのトータルバランスを学ぶ			
第15回	43-45	期末テスト	テーマに合わせたヘアメイク			
初回持ち物		メイクBOX、白タオル、前期で配布したもの(ブラシセット、スポンジ、パフ)、箱ティッシュ、綿棒、コットン、ゴミ袋、セロハンテープ				
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト		○	実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ブランド			クラス名	S1D	
1年単位	前期	-	後期	1単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要	化粧品ブランドの歴史を学び、知識を身に着ける事でメイク業界への知識を深め、実技や就職活動に活かす事を目的とします。					
到達目標	化粧品ブランドの種類・歴史を理解する。また、ブランド別のメイクの特徴や違いを理解し就職後に活かせる知識を習得。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書						
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	ブランドの歴史	ブランドの種類やチャンネルの紹介			
第2回	2	ブランドの歴史	国産ブランドの歴史や特徴について①			
第3回	3	ブランドの歴史	外資ブランドの歴史や特徴について①			
第4回	4	ブランドの歴史	イメージ別ブランドの歴史や特徴について(キュート・フェミニン)			
第5回	5	ブランドの歴史	イメージ別ブランドの歴史や特徴について(クール・モード)			
第6回	6	ブランド紹介	ファッション展開のあるブランドについて			
第7回	7	ブランドの歴史	国産ブランドの歴史や特徴について②			
第8回	8	ブランドの歴史	外資ブランドの歴史や特徴について②			
第9回	9	ブランド研究	学んだブランドの中で自分にあったブランドを探す・レポート作成			
第10回	10	メイクデッサン	ブランドを選択しメイクデッサン・ペアのメイクをプロデュース			
第11回	11	プロデュースメイク	デッサンを元に相モデルでメイク			
第12回	12	グループワーク①	ディスカッション			
第13回	13	グループワーク②	ディスカッション			
第14回	14	期末テスト	知識確認の筆記テスト			
第15回	15	総まとめ	今までの授業を参考にレポート作り・発表			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		メイク検定対策		クラス名	S1D	
1年単位		前期	-	後期	4 単位	1年合計単位 4 単位
2年単位		前期	6 単位	後期	-	2年合計単位 6 単位
メイク講師						
担当講師		実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、撮影やメイクアドバイスなどの経験をふまえ、ヘアアレンジとメイクアップの基本を伝えていく。		
目的及び概要		JMA(メイク検定)3級.2級合格に向けて学習、2年時はJMA1級合格に向けて学習します。技術はもちろん、お客様やモデルへの配慮ができるようにメイクアップの基本を学習します				
到達目標		JMAメイク検定3級.2級合格を目指し、これから社会へ出ることを念頭に信頼される接客、メイクアップの基礎を身につけることが目標				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		日本メイアップク技術検定公式テキスト2, 3級				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	メイク検定対策1	JMA検定について・セッティング・顔分析1・3級手順セルフメイク実習			
第2回	5-8	メイク検定対策2	モデルセッティング・スキンケアテクニク1			
第3回	9-12	メイク検定対策3	スキンケア2・ベースメイクテクニク1・チーク基本			
第4回	13-16	メイク検定対策4	顔分析2・ベースメイク2・チーク,ハイライト,ローライトテクニク			
第5回	17-20	メイク検定対策5	JMA3級 タイムトライアル1			
第6回	21-24	メイク検定対策6	JMA3級模擬 タイムトライアル2			
第7回	25-28	JMA3級検定試験	JMA3級検定試験 (期末テスト評価含む)			
第8回	29-32	メイク検定対策8	2級検定について、セッティング・顔分析3・ポイントメイク			
第9回	33-36	メイク検定対策9	ポイントメイク実習			
第10回	37-40	メイク検定対策10	2級スキンケア～ベースメイク2級実技・ポイントメイク			
第11回	41-44	メイク検定対策11	2級ポイントメイク			
第12回	45-48	メイク検定対策12	2級検定タイムトライアルトータル1			
第13回	49-52	メイク検定対策13	JMA2級模擬 タイムトライアル2			
第14回	53-56	JMA2級検定試験・期末テスト	JMA2級検定試験・期末テスト 前半			
第15回	57-60	JMA2級検定試験・期末テスト	JMA2級検定試験・期末テスト 後半			
初回持ち物		JMA3.2級テキスト、検定用メイク道具一式、15cm定規、無地ノート、筆記用具、付箋、クリアファイル、はさみ、BOXティッシュ、綿棒、ナチュラルメイク				
成績評価方法		・出席率		定期試験	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	メイクカウンセリング			クラス名	S1D	
1年単位	前期	-	後期	2 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	富田里恵子					
	実務経験	有		認定メイクセラピストとして、個人及び企業向けに印象アップのメイク術を伝えている。メイクセラピー検定2級の知識と技術を、学生の成長と可能性を支援するマインドで指導する。		
目的及び概要	メイクセラピーの手法を学び、カウンセリングに必要な心理学や人間関係論、メイクアップに必要な印象分析とメイク理論、色彩学等の知識と技術を習得する。外見を美しくするのみでなく、受け手の心理的な援助ができるようなカウンセリングマインドの擁立を目指す。					
到達目標	要望を引き出すカウンセリング技術の基本とコミュニケーション、オーダーに伴った印象を理論的に分析して必要なメイクを提供できるメイク技術の基本を習得する。メイクセラピー検定2級に合格する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	日本メイアップク技術検定公式テキスト2, 3級					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	オリエンテーション	メイクセラピーとは・検定について			
第2回	3・4	印象分析	印象分析・錯視メイク理論・セルフメイク(遠心、求心)			
第3回	5・6	色彩とメイク	色彩心理と効果・印象チェンジメイク			
第4回	7・8	メイク実習①	イメージ別メイクの習得(知的な印象)			
第5回	9・10	化粧心理学	印象管理・化粧の効用・承認欲求と自己承認 他			
第6回	11・12	メイク実習②	イメージ別メイクの習得(優しい印象)			
第7回	13・14	メイクセラピー的心理学	シャドー・交流分析・論理療法・防衛機制 他			
第8回	15・16	メイク実習③	イメージ別メイクの習得(健康的な印象)			
第9回	17・28	カウンセリング概論	カウンセリングに必要なテクニック			
第10回	29・20	メイク実習④	イメージ別メイクの習得(華やかな印象)			
第11回	21・22	筆記試験対策	マークシート問題・論述問題・マナー対策			
第12回	23・24	メイク実技試験対策	実技過去問題・フィードバック			
第13回	25・26	期末試験	期末試験(筆記)			
第14回	27・28	期末試験返却・検定直前対策	期末試験解答の解説・検定前注意事項			
第15回	29・30	メイクセラピー検定2級試験	筆記試験・実技試験			
初回持ち物	テキスト・筆記用具・メイク道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		エステティック実習			クラス名	S1D	
1年単位		前期	4 単位	後期	4 単位	1年合計単位	8 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師 菊谷 未歩・戸田 奈美・中島 夕希							
担当講師		実務経験	有	エステサロンでの経験からサロンでのニーズに即した対応力・マナー等を伝え、ボディ実技を習得する。			
目的及び概要		エステシャンに必要なものは「知識」「技術」「おもてなしの心」です。エステシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら、エステシャンとして必要な挨拶や敬語、ご案内の仕方、接客中の対応、掃除等をサロン業務を学んでいきます。笑顔で積極的にコミュニケーションがとれる人材を育成します。					
到達目標		接客やマナーが身に付き、ご挨拶、ご案内、脚両面のマッサージやエステサロンの主なコースの習得が出来るようにしていきます。前期目標の「言われたことが出来る人になる」ことを目指していきます。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1-4	準備	事前準備/ベツメイキング/挨拶/片付け/掃除などについて				
第2回	5-8		ベツメイキング/ご案内/脚背面デモンストレーション前半				
第3回	9-12	脚背面マッサージ	脚背面マッサージデモンストレーション後半→練習				
第4回	13-16		脚背面マッサージ練習				
第5回	17-20		脚背面マッサージ練習				
第6回	21-24	脚表面マッサージ	脚表面マッサージデモンストレーション→練習				
第7回	25-28		脚表面マッサージ練習				
第8回	29-32	カウンセリング 様々なエステティック マッサージ練習	①カウンセリング/脚マッサージ/バイブレーション機器				
第9回	33-36		②カウンセリング/脚マッサージ/かさ				
第10回	37-40		③カウンセリング/足湯バスソルト/かかと角質除去/マッサージ				
第11回	41-44	期末試験対策	脚両面マッサージ練習				
第12回	45-48	期末テスト	期末テスト				
第13回	49-52	腕マッサージ	腕マッサージデモンストレーション→練習				
第14回	53-56	フェイシャル	クレンジング/拭き取り/整肌/デモンストレーション				
第15回	57-60		相モデル練習→パック				
初回持ち物		□筆記用具 □メモ帳 □ローブ □シート □フェイスタオル5枚 □タイマー □ビニール袋 □実技ファイル □タオルハンカチ又はハンドタオル □キャミソールとくつ下(着用してくること) ※実習着用、ピアス・カラー・コンタクト不可・夜会巻きで参加すること(初回:上は黒のTシャツ)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		エステティック実習			クラス名	S1D	
1年単位		前期	4 単位	後期	4 単位	1年合計単位	8 単位
2年単位		前期	-	後期	-	2年合計単位	-
エステ講師							
担当講師		実務経験	有	エステサロンでの経験からサロンでのニーズに即した対応力、マナー等を伝え、ボディ実技を習得する。			
目的及び概要		機器などを使用し、技術やカウンセリング、分析力の向上を目指し、お客様に合う化粧品の選択やアドバイスが出来るようする。					
到達目標		肌状態の見極め、カウンセリング、分析、提案力の向上					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1-4	前期復習	ポイントクレンジング～クレンジング～洗顔～整肌				
第2回	5-8	お肌チェック	施術前の肌チェック～クレンジング後の肌チェック・シート記入・肌状態を伝える				
第3回	9-12	ウッドランプ	ウッドランプを使用した肌状態の確認				
第4回	13-16	ディープクレンジング①	酵素				
第5回	17-20	ディープクレンジング②	スクラブ				
第6回	21-24	ディープクレンジング③	キッシング				
第7回	25-28	ディープクレンジング④	エレクトロ				
第8回	29-32	ディープクレンジング⑤	スクラバー				
第9回	33-36	フェイシャル機器①	イオン導入				
第10回	37-40	フェイシャル機器②	バター				
第11回	41-44	期末試験対策	ペア発表/期末試験のコース内容決め、準備				
第12回	45-48		コース練習①				
第13回	49-52		コース練習②				
第14回	53-56	期末試験①	期末試験				
第15回	57-60	期末試験②					
初回持ち物		筆記用具・実技ファイル、シーツ、ローブ、茶タオル6枚、理論で配布したプリントは必須、他、1年前期のエステ実技と同様の持参物					
成績評価方法		・出席率		定期試験	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名	アロマベーシック			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	安齋孝子					
	実務経験	有	アロマコーディネーター協会認定加盟校講師・同時にサロン経営15年の経験をもとにセラピストとして必要な知識、接客のポイントを現場のニーズに沿って指導する。			
目的及び概要	アロマセラピーとは何か、香りは心身の精神や健康に作用するので最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水などのアロマクラフトも自作できるようアロマセラピーを学び、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。					
到達目標	数種類のエッセンシャルオイル(精油)の香り・種類・特性を学びます。ハンドマッサージ等、セルフケアから体や心にどのような影響があるかを理解します。植物の香りや色を通じて心理への関係性を理解します。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	生活の中の香り	思い出の香りと記憶の関係性			
第2回	2	アロマセラピーとは	施香(グレープフルーツ・オレンジ)禁忌事項について			
第3回	3	精油の種類①	施香(他柑橘系、ラベンダー・ティーツリー・ゼラニウム)芳香浴体験			
第4回	4	精油の種類②	施香(ローズマリー・フランキンセンス・ペパーミント他)バスソルト作成			
第5回	5	精油の種類③	施香(クラリセージ・サイプレス・レモングラス・パチュリー)			
第6回	6	精油の肌に対する働き	施香(サンダルウッド・ジュニパー)クレイパック作成			
第7回	7	香りと心理について①	好きな香りを嗅いで曼荼羅塗り絵			
第8回	8	香りと心理について②	カラーセラピーの体験			
第9回	9	オリジナルアロマクラフト	アロマブレンドについて、化粧水作成			
第10回	10	腕のトリートメント	トリートメントオイル作成と実習			
第11回	11	ひざ下のトリートメント	アロマトリートメントの有用性と実習			
第12回	12	アロマクラフトの種類	簡単に作れるアロマクラフト マウスウォッシュ作成			
第13回	13	リラクゼーションの必要性	ブレンドの有用性、ルームスプレー作成			
第14回	14	試験対策	禁忌事項についての確認と前期総復習			
第15回	15	期末試験	授業内の範囲から出題			
初回持ち物	ipad・筆記用具・1年次に使用したノート等 テキスト2冊					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ヨガベーシック			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	岩木 浩子					
	実務経験	有	30年間の現場グループ指導の経験を活かして、運動の必要性や楽しさを伝える。			
目的及び概要	ヨガを通じて身体の歪みや心身の不調を取り除く方法を身につけ日々の生活を良いものに変え、肯定的に生きる環境を手に入れる事を目的とする。					
到達目標	ヨガについての雑学、人間について学ぶプロセスを知る。代表的な「太陽礼拝」を覚える。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	オリエンテーション	ウエルカムヨガ・速攻で身体を柔らかくする方法			
第2回	2	ヨガの哲学	ヨガって何?・確認テスト・呼吸の実践			
第3回	3	ヨガの効果	ヨガの効果・確認テスト・太陽礼拝			
第4回	4	ハタヨガ	ハタヨガとは?確認テスト・ハタヨガの実践			
第5回	5	アヴィディヤ	本当の自分について考える時間・太陽礼拝			
第6回	6	ナーディー	身体のエネルギーについて・美脚を作るポーズ			
第7回	7	チャクラ	エネルギーセンター・ヒップアップポーズ			
第8回	8	プラーナ	エネルギーの概念・太陽礼拝			
第9回	9	実技	太陽礼拝全体練習			
第10回	10	実技	太陽礼拝グループ練習			
第11回	11	実技	太陽礼拝グループ練習			
第12回	12	実技	太陽礼拝グループ練習			
第13回	13	実技	太陽礼拝グループ練習			
第14回	14	期末試験	太陽礼拝			
第15回	15	まとめ	クロージングヨガ			
初回持ち物	ヨガに適した服装(ジャージ、レギンス、Tシャツ、トレーナー、など) 筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	リフレクソロジー			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	鈴木瞳・藤江昭子・森菊子・山本麻奈					
	実務経験	有 日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】認定リフレクソロジー・プロライセンス実技士。実務経験を活かしてお客様にあった施術計画や実践ができるよう、リフレクソロジーの基礎を伝えていく。				
目的及び概要	反射字と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。					
到達目標	基本となる技術を習得(リフレクソロジー導入まで)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	テキスト(プリント)配布					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	リフレクソロジーの理論と歴史	リフレクソロジーの理論と歴史について 基本の指使い 実践 ハンドリフレクソロジー			
第2回	2					
第3回	3					
第4回	4	足に施術をすることで分かるお疲れのサイン	リフレクソロジーの歴史 実践 (不調別リフレクソロジー 頭の疲れ・肩こり編)			
第5回	5					
第6回	6					
第7回	7	足に施術をすることで分かるお疲れのサイン	記録の取り方・コミュニケーション 実践 (不調別リフレクソロジー むくみ・肌荒れ編)			
第8回	8					
第9回	9					
第10回	10	足に施術をすることで分かるお疲れのサイン	実践 (不調別リフレクソロジー便秘・腰痛・生理痛編)			
第11回	11					
第12回	12					
第13回	13	筆記テスト・実践のまとめ	筆記テスト/ 実践のまとめ(相手の不調に合わせた施術の実践)			
第14回	14					
第15回	15					
初回持ち物	筆記用具、フェイスタオル(もしくは準ずるもの)、ギャルソン着用					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ブライダル概論			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	人生の節目である『結婚式』についての基礎を幅広く学ぶ。結婚って？結婚式って？結婚式のスタイルや様々な婚礼衣装、トレンドなどブライダルに関わる様々な知識と仕事について理解を深める。					
到達目標	結婚とはなにか、結婚式にはどんなスタイルがあるのか理解する。ブライダル業界の様々な仕事を理解する。コーディネートを体験し、ブライダルの面白さを学ぶ。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JWSA WEDDING FASHION ①					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	オリエンテーション	ブライダル概論の授業について / 自己紹介			
第2回	2	『結婚』とは	結婚とはなにか / ウエディングストーリー / 挙式スタイル			
第3回	3	披露宴	パーティースタイル(ホテル・ゲストハウス・専門式場・レストラン)			
第4回	4	結婚式のアイテム①	挙式・披露宴を盛り上げる様々な演出アイテム			
第5回	5	結婚式のアイテム②	挙式・披露宴を盛り上げる様々な演出アイテム			
第6回	6	結婚式のトレンド	挙式・披露宴・衣装・演出などの結婚式のトレンド			
第7回	7	結婚式を創る	結婚～会場決定～結婚式を迎えるまでの流れ			
第8回	8	ブライダルのお仕事	結婚式に携わる様々なお仕事			
第9回	9	ブライダルのお仕事	結婚式に携わる様々なお仕事			
第10回	10	ブライダルのお仕事	結婚式に携わる様々なお仕事			
第11回	11	コーディネート	テーマに沿った結婚式をコーディネートする			
第12回	12	自分の結婚式をプロデュース①	自分の理想の結婚式をプロデュース(ワーク)			
第13回	13	自分の結婚式をプロデュース②	自分の理想の結婚式をプロデュース(ワーク)			
第14回	14	期末試験	期末試験			
第15回	15	振り返り	テスト返却/授業振り返り			
初回持ち物	JWSA WEDDING FASHION①のテキスト / 筆記用具 / iPad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ウェディングスタイリスト			クラス名	S1D	
1年単位	前期	2 単位	後期	-	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、婚礼を主にウェディングプランナーの業務に携わる。その経験からウェディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	接客の心構えを学び、「結婚」に関する知識を習得し、ブライダルの衣装スタイリストとしてのテクニックを身につける。同時にブライダルビジネスへ興味や希望をもって臨める自信をつける。					
到達目標	ブライダル衣装のスタイリストとしての知識と実技を習得し、トータルプロデュースができる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JWSA WEDDING FASHION					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2・3(4/16)	ブライダルの接客とは	オリエンテーション/ブライダルの接客テクニックとコミュニケーション手法			
第2回	4・5・6(4/23)	ドレススタイリストの業務・ファッションの変遷	スタイリストの仕事について / ファッショントレンドからみる婚礼衣装のデザイン			
第3回	7・8・9(4/30)	新郎新婦の洋装	ドレスの基礎知識 / ウェディングドレス、カラードレスの特徴と小物類			
第4回	10・11・12(6/11)	新郎新婦の洋装	スーツの基礎知識 ブラックフォーマル、新郎の礼装の特徴と小物類			
第5回	13・14・15(6/18)	新郎新婦の和装 / 留袖	着物の基礎知識 白無垢、色打掛、大振袖の特徴と文様、小物類			
第6回	16・17・18(6/25)	ブライダルインナー	ブライダルインナーの種類と用途、装着のテクニック / アテンドについて			
第7回	19・20・21(7/2)	ドレスフィッティング①	ドレスフィッティング体験			
第8回	22・23・24(7/9)	ドレスフィッティング②	ドレスフィッティング体験			
第9回	25・26・27(7/16)	婚礼衣装のトレンド	ドレスコーディネート(フィッティング・プレゼンテーション)			
第10回	28・29・30(7/23)	定期試験	認定試験本番 / テスト返却&解説 / 振り返り / 私の理想のオリジナルドレス			
第11回						
第12回						
第13回						
第14回						
第15回						
初回持ち物	テキスト①WEDDING FASHION / iPad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイル実習			クラス名	S1D	
1年単位	前期	3 単位	後期	4 単位	1年合計単位	7 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	有倉 麻衣子・鯨井 朋子・齋藤 鮎美					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持つJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が必要です。その為、幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかりと勉強してまいりましょう。					
到達目標	ネイルケアの基礎を理解する。 JNECネイリスト技能検定3級実技の流れをトレーニングして理解する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JNAテクニカルベーシック					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	オリエンテーション	授業について/商材配布			
第2回	4-6	ネイル理論・実技	ネイルの歴史/テーブルセッティング/カットスタイル/ファイル			
第3回	7-9	ネイル理論・実技	爪の構造と働き/基本の塗り方			
第4回	10-12	ネイル理論・実技	色相環/アートの描き方			
第5回	13-15	ネイル理論・実技	消毒法/フラットアート/ファイル/ポリッシュオフ			
第6回	16-18	ネイル理論・実技	爪や皮膚の病気とトラブル/ネイルケアプッシャー			
第7回	19-21	ネイル理論・実技	ネイルの技術体系/皮膚科学/ネイルケアニッパー			
第8回	22-24	実技	ネイルケア手順			
第9回	25-27	実技	総合トレーニング			
第10回	28-30	実技	総合トレーニング/デザイン			
第11回	31-33	実技	総合トレーニング			
第12回	34-36	期末試験	筆記試験・実技試験			
第13回	37-39	期末試験	筆記試験・実技試験			
第14回	40-42	実技	サロンスタイル			
第15回	43-45	実技	サロンスタイル			
初回持ち物	教科書(JNAテクニカルベーシック)・油性ペン(細い)・はさみ・セロテープ・筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイル実習			クラス名	S1D	
1年単位	前期	3 単位	後期	4 単位	1年合計単位	7 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	ネイル講師					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持つJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	ネイルケアの基礎を理解する JNECネイリスト技能検定3級実技の流れを理解する ポリッシュカラーの特徴を理解し様々なアートに挑戦する					
到達目標	ネイルケアの基礎を理解する。JNECネイリスト技能検定3級実技の流れを理解する。 1/18(日)JNECネイリスト技能検定試験3級合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JNAテクニカルベーシック					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	検定試験について	3級DVD、教材配布、要項確認、テーブルセット			
第2回	5-8	アート	アートの描き方			
第3回	9-12	ネイルケア	指の持ち方、ファイリング、プッシャー			
第4回	13-16		プッシャー、ニッパー、ガーゼクリーンナップ			
第5回	17-20	カラー	カラーオフ			
第6回	21-24	タイム	70分:3級検定			
第7回	25-28					
第8回	29-32					
第9回	33-36					
第10回	37-40	模擬試験	総合トレーニング			
第11回	41-44	仕込み	JNECネイリスト技能検定3級仕込み			
第12回	45-48	アート	サロンワークデザイン			
第13回	49-52	カラーリング	デザイン制作			
第14回	53-56					
第15回	57-60	期末試験	チップ提出			
初回持ち物	教科書、油性ペン(細い)、フェイスタオル5枚(内3枚は無地)、ハンドタオル、はさみ、ノリ、iPad、安全ピン3本(大きいサイズ)、キッチンペーパー、ゴミ袋、セロテープ、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	カラーデコレート			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	岡永めぐみ					
	実務経験	有	パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数所有し、ブライダルの分野では新郎新婦のパーソナルカラー診断や希望に応じたブーケや小物に至るものをデザイン、制作しトータルでカラーコーディネートを担当しているため、より実践的な指導が出来る。			
目的及び概要	前半は美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこから自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいのかを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また基本的な色彩用語を学び、日常でも使うことで理解を深める。後半は就職活動において、ビジネスカジュアルを理解することで迷うことなく自分でコーディネートすることが出来る。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分を色でプロデュースすることが出来る 色の基本知識を説明することが出来る 就職活動における基本のファッションを説明することが出来る 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	色を勉強する意味とは	美容業界においてカラーを勉強する意味をする			
第2回	2	自分や友達を色で表現する	自分とクラスメイトを色で表現する			
第3回	3	色彩心理を知る	色の意味を知る			
第4回	4	色の基本的知識を理解する1	色の三属性とトーンを理解する(色相ゲーム等)			
第5回	5	色の基本的知識を理解する2	色の三属性とトーンを理解する(色相環作成)			
第6回	6	色の基本的知識を理解する3	色の三属性とトーンを理解する(トーン図作成をして色の変化をみる)			
第7回	7	パーソナルカラーの基本知識を知る	パーソナルカラーにおける色の違いを理解する			
第8回	8	パーソナルカラーにおける色の違いを理解する	シーズン毎の色を確認する			
第9回	9	パーソナルカラーの自己診断をする1	ボディチェックをし、自分の得意な色を推察する			
第10回	10	パーソナルカラーの自己診断をする2	ボディチェックをし、自分の得意な色を推察する			
第11回	11	就活に向けたファッションを知る1	社会人としてファッションを身につける			
第12回	12	就活に向けたファッションを知る2	就活でNGな身なりを確認する			
第13回	13	就活に向けたファッションを知る3	自分に合った就活ファッションを確認する			
第14回	14	試験	試験			
第15回	15	試験の解説	試験の解説と質疑応答			
初回持ち物	のり、はさみ、カラーカード199、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以上	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以上 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ビューティプログラム			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	担当講師					
	実務経験	無	各業界の現場経験の実績を活かし、美容業界で就業するために必要なスキルを指導していく。			
目的及び概要	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付けをすることで習慣化する。社会人になった際の即戦力となる。					
到達目標	ビューティの仕事に就くための基礎を身につける。ビューティの意識を習慣づけることができるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	ビューティの基礎 ①	講話(学園生活/美容業界)			
第2回	2		挨拶・キレイなお辞儀レッスン			
第3回	3					
第4回	4					
第5回	5		コミュニケーションスキル①			
第6回	6					
第7回	7	ビューティの基礎 ②	コミュニケーションスキル②			
第8回	8		スーツの着こなしについて(スーツ着用日について)			
第9回	9					
第10回	10		制服の着こなし方(実際に着用する)			
第11回	11					
第12回	12	ビューティの意識				
第13回	13	ビューティの基礎 ③	身嗜みについて(服装・夜会巻き、ハーフアップ)レッスン			
第14回	14					
第15回	15					
初回持ち物	筆記用具、メモ帳、タブレット					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ビューティプログラム			クラス名	S1D	
1年単位	前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	担当講師					
	実務経験	無	各業界の現場経験の実績を活かし、美容業界で就業するために必要なスキルを指導していく。			
目的及び概要	ビューティの仕事に就くための基礎を身につける。 ビューティの意識を習慣づけることができるようになる。					
到達目標	ビューティの仕事に就くための基礎を身につける。 サロンワークの理解を深め、即戦力に必要なスキルを身に付ける					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	外部研修①	外部研修を通じて、美容業界について知識を深める			
第2回	3・4					
第3回	5・6					
第4回	7・8	サロンワーク準備	各役割担当決め、各役割の仕事について			
第5回	9・10		メニュー決め/接客マニュアル作成/各役割担当別準備			
第6回	11・12		サロンレイアウト/接客・技術練習			
第7回	13・14	サロンワーク①	サロンワーク本番①			
第8回	15・16					
第9回	17・28					
第10回	29・20	サロンワーク②	サロンワーク本番②			
第11回	21・22					
第12回	23・24					
第13回	25・26	外部研修②	外部研修を通じて、美容業界で働くためのホスピタリティ 接客スキルを学ぶ			
第14回	27・28					
第15回	29・30					
初回持ち物	筆記用具、メモ帳、タブレット					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				